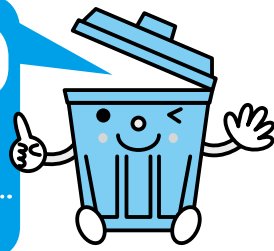


# ごみのシリーズ③ 分け方・出し方

問い合わせ 環境課 内線 284



## 紙類の 出し方について



家庭から出るもえるごみの中には、リサイクル可能な資源である紙類が約20%含まれています。正しく分別して、ごみの減量化にご協力ください。

## ごみの減量化に向けて

### 紙類を正しく分別して、ごみ減量！

#### ①分類ごとにまとめましょう

新聞紙、雑誌・広告類、段ボール、ボール紙、紙パックの分類種類ごとに、十字に縛ります。ティッシュ箱などのビニールははずしてください。また、紙袋の取っ手で紙製でないものは、はずしてもえるごみとして出してください。

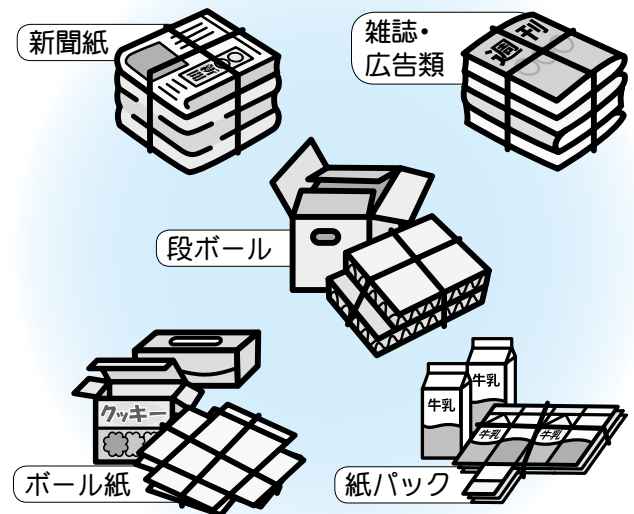
#### ②雨の日は出せません

紙類は、ぬれるともえるごみになってしまいます。

#### ③資源にならない紙もあります

中が銀色のパック、防水加工されたもの(紙コップ、アイスのカップなど)、カーボン紙(宅配便伝票など)、感熱紙(レシートなど)、写真などはもえるごみとして出してください。

#### 紙類は5種類



### 雑紙ってなに？どうやって出すの？

5種類のいずれの区分にも入らないリサイクルできる紙類を「雑紙」といいます。メモ用紙、ノート、封筒、包装紙などです。雑紙一つひとつは小さいものですが、種類や廃棄する頻度が多いため、分別を徹底すればかなりの量を回収できます。雑紙は小さいもの、形が異なるものが多いため、紙袋や封筒に入れるなどしてまとめると出しやすくなります。出すときは雑誌・広告類と同じ分類で出してください。



#### ひと工夫で 雑紙リサイクル

ごみ箱に“雑紙を入れる用の封筒”をあらかじめ貼り付けておくなど、日頃からこまめに分別する環境づくりをすることが、ごみ減量につながります。



## 東部知多 クリーンセンター 爆発事故 発生

昨年12月26日(火)、東部知多クリーンセンターの粗大ごみ処理施設で、破砕作業中に発生した爆発事故により施設が損壊しました。

ごみを出す際は、ごみを正しく分別していただくとともに、発火する危険性のあるスプレー缶やカセットガスボンベは中身を使い切って、危険物回収のコンテナに出してください。

●問い合わせ ・東部知多クリーンセンター ☎46-8855  
・役場 環境課 内線283